第１学年　生活科（交通安全）　　　　　　　　　　　　　　場所　１年３組教室

もうすぐ２年生

指導者　寺本　桃

**１　単元の目標**

　・新１年生になる幼児のことを考え、迎えるための準備をすることができる。

　・２年生になる期待や、２年生になってしたいことなどを考える。

**２　新学習指導要領との関連**

　　資質・能力の三つの柱としての目標

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
| 学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考える。 | 学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる。 | 楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。 |

**３　単元について**

・本単元では、新１年生になる幼児を迎える準備をすることによって、自分たちの成長を実感したり、成長した自分に自信をもたせたりしていきたい。

　・新１年生になる幼児に校内での安全な過ごし方を伝えることで、自分たちも安全な過ごし方について振り返る機会にしたい。

**４　安全教育の視点に迫るための手だて**

・写真や映像を用いて、より児童が安全へのイメージをもって学習を進められるようにする。

・幼児に伝える活動を通し、自らの危険な行動を客観的にもふりかえらせて意識させるようにする。

**５　指導計画（７時間）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ○主な学習活動 | ◎指導上の留意点　■評価☆安全教育の視点に立った留意点 |
| １ | ○新１年生を招待する会を計画する。 | ◎幼稚園の写真等も見せながら、幼稚園と小学校の違いに気付かせる。■幼稚園と小学校の生活や施設の違いに気が付くことができる。 |
| ２３４ | ○新１年生を招待する会の準備をする。 | ◎“幼児が分かりやすいこと”を意識させる。☆自分たちはもちろん、幼児の安全に対しての配慮についても話し合わせる。■幼児のことを考え、迎える会の準備をしようとしている。■幼児を迎えるためには何が必要か、何をしたらよいかを考えることができる。 |
| ５(本時) | ○新１年生を招待する会を行う。 | ◎相手に応じた話し方や適切な聞き方を意識させる。☆慣れない小学校で幼児がけがをしないように見守らせる。■幼児のことを考えて行動することができる。■幼児が分かりやすいように工夫して発表することができる。 |
| ６ | ○活動を振り返り、幼児を迎えるための教室の準備をする。 | ◎入学した頃を振り返り、幼児のためにできることを考える。☆幼児が安心して生活できるような工夫を考える。■もうすぐ進級することを実感することができる。 |
| ７ | ○２年生になったらやりたいことやできるようになりたいことを考え、文にまとめる。 | ◎書いた作文を発表したり、友達の発表を聞いたりすることで、２年生になる期待感を高める。■２年生になる期待や希望を持ちつつ、成長した自分に気付いている。 |

**６　本時の展開 （５／７）**

**（１）ねらい**

　・幼児が安心して学校生活を送れるよう、交通についての安全を教えることができる。

・幼児との交流を通して、自分の成長を実感する。

**（２）指導の実際**

|  |  |
| --- | --- |
| ○学習活動・予想される児童、幼児の反応 | ◎教科の留意点　■評価（評価方法）☆安全教育の視点に立った留意点 |
| ◯幼児を歓迎する。（はじめの言葉）◯班に分かれて、ワークショップを開き、幼児を案内する。交通安全をテーマにした絵本・紙芝居コーナー　・児：道路を渡るとき、どうしたらいいのかな。　・幼：手を挙げて渡るんだね。道路における危険や交通法規に関するクイズコーナー・児：赤信号はどんな意味かな。・幼：止まれだよ。交通安全ゲームコーナー・児：目を見て合図をするといいんだよ。・幼：アイコンタクトっていうんだね。交通安全をテーマにした創作劇コーナー・児：急に飛び出してもいいのかな。・幼：危ないよ。止まって周りを見たほうがいいよ。交通安全に関する映像を使った体験コーナー・児：後ろから自転車が来るかもしれないよ。・幼：止まって見てから渡ると安全だね。◯幼児のから感想をもらう。　・道路の安全な歩き方が分かった。　・お兄さん、お姉さんが優しく教えてくれた。　・１年生になるのが楽しみになった。○活動の振り返りをする。・準備をしながら安全についてよく考えられた。・がんばって準備したから、楽しんでもらえてよかった。・早く２年生になりたいなと思った。○互いに挨拶をする。（終わりの言葉） | ◎互いに気持ちよく出会うことができるよう、名札を用意したり、幼児への声掛けの仕方を準備したりしておく。◎幼児に優しく接している様子をほめることで、相手のことを考えた行動ができた自分に気付かせる。☆幼児が楽しみながら道路の歩行や自転車の使用についての知識を高められるような場を設定する。■幼児が楽しんで学ぶことができるように工夫することができる。【思･判･表】（観察･発言)■幼児のために行動することで、自分自身の成長を実感することができる。【知･技】（発言) |